

プレス発表文

平成15年8月8日
社団法人 日本技術士会

平成15年度技術士試験第二次試験（筆記試験） における出題ミスについて

平成15年8月2日に実施した、平成15年度技術士試験第二次試験（筆記試験）において、総合技術監理部門の必須科目（総合技術監理一般）五肢択一式マークシート試験問題に出題ミスがあることが判明いたしました。

出題ミスがあったのは、40問のマークシート試験のうち「 - 1 - 36 いわゆる廃棄物処理法に関する以下の説明の中から正しいものを選び答えよ。」の設問（別紙）であります。

予定していた正答は であるが、選択肢 は正しくは「20種類の産業廃棄物が定められている。」であるべきところを、「19種類の産業廃棄物が定められている。」としてしまったため、これも間違いとなり、結果として正答がなくなってしまったというものです。

このため、「 - 1 - 36 」については出題ミスであるものと認め、受験者（1,716人）に不利にならない措置として全員に得点を与え、採点を行うこととしました。

なお、この筆記試験の合格発表は11月7日に行われる予定ですが、受験者の皆様をはじめ、関係の皆様にも多大なご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

つきましては、今後このようなことが再び起こらないよう、原因を徹底的に調査・究明し、万全の措置を講じていく所存であります。

別 紙

平成15年度技術士第二次試験（筆記試験）試験問題

『総合技術監理部門』

< 必須科目 > 総合技術監理一般

- 1 - 3 6 いわゆる廃棄物処理法に関する以下の説明の中から正しいものを選び答えよ。

オフィスから出る廃棄物はすべて産業廃棄物である。

廃棄物は大きく分けて、一般廃棄物と産業廃棄物と特別管理廃棄物の3種に分類される。

事業活動に伴って出た廃棄物は全て産業廃棄物である。

19種類の産業廃棄物が定められている。

原子力発電所から出る放射性物質を特に厳しく規制している。